



西海岸に帆船「日本丸」入港（門司区）

35号のコンテンツ

P2***北九州港～横須賀港 新規フェリー航路が開設されます

P3***北九州港のフォトスポットを紹介するウェブサイト「海街エモーション北九州」を公開

P4～5*トップ・インタビュー～一般社団法人おもやいファーム 代表理事 乙村 隆文さん～

P6***スナQポロシャツを販売します

P7***北九州港オリエンテーションを開催しました

***一般社団法人北九州港振興協会 第57回通常総会を開催しました

P8***新会員のご紹介

P9***編集後記



北九州港～横須賀港 新規フェリー航路が開設されます

北九州港においては、現在、新門司フェリーターミナルから1日5便、小倉フェリーターミナルから1日1便のフェリーが就航していますが、このたび、「東京九州フェリー（株）」が、新たに北九州港（新門司）と横須賀港を結ぶ新規フェリー航路を開設します。

この航路に投入されるフェリーは、新造船2隻で専用テラス付きの個室や露天風呂、スポーツルームなど「快適な船旅」のための設備が、多数備えられています。

また、このフェリーは高速フェリーであり、横須賀港との間を約21時間で結びます。これまで主にトラックで輸送されていた宅配貨物、青果物、生鮮食料品等がこのフェリーによって輸送されると見込まれています。



航路の概要

- (1) 開設日 令和3年7月1日
- (2) 航路 北九州港新門司地区 ～ 横須賀港新港光地区 976km
- (3) 運航ダイヤ 日曜日を除く週6便運航

【上り】

新門司発	横須賀着
23:55	翌日 20:45

【下り】

横須賀発	新門司着
23:45	翌日 21:00



使用船舶の概要

- (1) 使用船舶 新造船2隻（はまゆう、それいゆ）
- (2) 全長 222.5m
- (3) 全幅 25.0m
- (4) 総トン数 約15,400トン
- (5) 旅客定員 268名
- (6) 積載車量 トラック約154台 / 乗用車30台

【問合せ】

北九州市港湾空港局

港営部 港営課

担当：新貝、田村

TEL：(093)321-5932

※東京九州フェリーホームページ

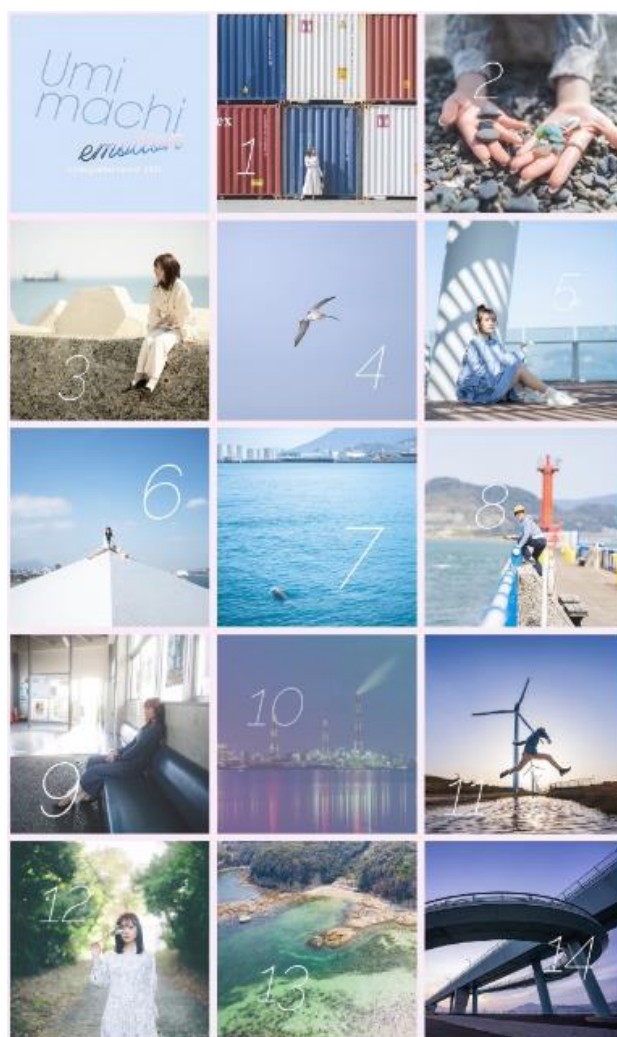
<https://taf.co.jp/>



「海街エモーション北九州」を公開

海に囲まれた北九州市は、全国でも有数の長さの海岸線があります。地域によってさまざまな特徴を持っており、気分や目的にあわせて楽しむことができます。

北九州市の海辺の魅力を多くの方々に知ってもらうため、「北九州港ホームページ」内に、海辺を写真や動画で紹介する『海街エモーション北九州』を作成し、現在公開しています。ぜひご覧ください！



【海街エモーション北九州】ホームページ

<http://www.kitagport.or.jp/umimachi/>



【UMIMACHI MOVIE】 YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=FINb1URY7gs>



【問合せ】

北九州市港湾空港局

港湾整備部 計画課

担当：嶋岡

TEL：(093)321-5967

目指すゴールは関わり合うすべてのヒト・コト・モノがつながる社会

一般社団法人おもやいファーム 代表理事 おとむら たかふみ 乙村 隆文 さん

■北九州市の今後の発展に必要なものは

北九州市に住み始めてから約 20 年になります。ほどよく都会でありながら、海や山も近く、自然が豊かで住みやすい地域だと思っています。

“モノづくりの工業都市”のイメージが強かったのですが、私が住んでいる若松区では、キャベツやトマトといったブランド野菜、スイカやとうもろこしといった美味しい野菜が作られています。しかし、畑もたくさんある一方、北九州市の農業人口は目減りし、実際には 65 歳以上の方が全体の 7 割で、若い就労者が圧倒的に少ない状況です。2016 年頃から「農福連携」

という、障害者や高齢者が農業に携われるように国や自治体などが支援する取り組みが始まっていますが、まだあまり注目されていません。北九州市も高齢化が進む中、次世代の農業の担い手として、障害者や高齢者の方々を繋いでいける仕組みづくりが必要です。



■おもやいファームについて

以前私は温泉施設で勤務しており、地域の人たちが野菜づくりを楽しむ家庭菜園のブースを施設内に設置したり、近隣の児童施設の子どもたちにお風呂掃除をしてもらい、その対価としてお風呂に入らせていただくといった社会体験を実施するなど、地域に根付くような取り組みをいろいろと行っていました。そんな中、介護施設のオーナーさんから、「発芽にんにくという変わったにんにくがあり、そのにんにくを通して雇用を見出すことが出来たら…」というお話をうかがいました。私自身、世の中の役に立つようなことで何か自分にできることがあれば、という思いがずっとありましたので、“ここで新たな事業に踏み出そう”、と 12 年間勤めた会社を辞め、2015 年に起業しました。

農業に対してのノウハウなし、コネなし、人脈なし、ゼロからのスタートでした。当時、東北の方で発芽にんにくを栽培していたところがあり、そこで栽培指導を受けたのですが、発芽にんにくは土壌ではなく水耕栽培で、気温や水温といったものに非常に左右されるため、東北と同じやり方ではうまくいきませんでした。そこから独自に研究を重ね、試行錯誤の末、水耕栽培で芽も根もまるごと食べられる栄養価の高い発芽にんにくの栽培に成功。2016 年の秋に「乙村式にんにく」というブランドを立ちあげました。



乙村式にんにくの栽培は、室内で天候に左右されず年間を通して安定した供給が可能、かつ、軽作業が多いので体の不自由な方や高齢の方にとって作業しやすい、というメリットがあります。“障害者の方が作ったものがお客様に喜ばれ、障害者の方に適切な賃金が支払われる”、そういった自主事業としてのモデルケースを作りたいと考え、2019 年に一般社団法人おもやいファームを設立。就業支援事業ということではなく、障害者の方に農業としてそこで働いていただける仕組みをつくり、運営を行っています。

■今後の目標

起業から約2年半は、事業として成り立たない日々の方が多かったですね。発芽にんにくが思うように育たず、どうやったら育つか？安定していかに栽培するか？という研究で、ほぼ睡眠時間がないような時期もありました。それでもこの発芽にんにくが出来れば、食物として野菜として新たなニーズが生まれ、雇用に結びつくツールになると思い、研究を続けました。

現在、乙村式にんにくは当ファームで月間約30,000粒を生産しています。市内外のスーパー18店舗、飲食店35店舗で取り扱いをしていただいています。そして、“自ら作った商品を自ら販売する”という仕組みづくりでサポートさせていただいた提携ファームが全国に8カ所あります。

私がこの事業を始めて一番良かったと思うのは、障害者の方々がやりがいを持って仕事をしているということです。現在、障害者の方を22名雇用していますが、自分たちが作っているものが世の中で喜ばれ、自分たちが人の役に立っているという実感が“やりがい”に繋がっているのだと思います。さらに、SDGsの「誰一人取り残さない」という目標の中で、企業が障害者を雇用する「ソーシャルファーム」の取り組みが広がり、障害者雇用が増えるきっかけになればと思っています。

今、障害福祉事業に取り組む中で、障害者の方に働いていただける環境を確保・継続していくことが一つの課題です。実際、入居待ちをしている障害者の方と、障害者の方向けの住居の需要と供給のバランスは全くとれていません。需要があるのに供給がなされていないのです。空き家がどんどん増えている中で、そういうところをグループホームとして利用する環境を整えればよいのですが、問題は“耐震基準”です。古い建物は耐震基準を満たしていない場合が多く、そうすると、建て替えの費用が問題になります。そこをなんとかグループホームとして運営できるように整備し、障害者の方が住むところ、働くところ、それを循環できる仕組みをつくりたい、というのが今後の目標です。自治体のご協力があると力強いのですが、そこばかりを頼るのではなく、自分たちでできるようなモデルケースをつくりたいと思っています。

■モットーにしていること

Give & Take（与えれば与えられる）、という言葉がありますが、「これだけやったのに見返りが無い」というふうに、どうしても“与えられること”に重きを置いてしまう人が多いと感じます。だから私のモットーは「Give Give Give and Share」。Takeを求めず常にGiveし続ける。Giveし続けた中で、自然と巡り巡って自分のところにも嬉しいことや喜びが還ってくるのではないかなと思うのです。とにかく何も期待せずに与え続けるということが、人として一番役に立ることではないかなと思っています。



★編集者から一言★

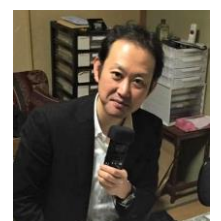
乙村理事が語られる言葉一つ一つに温かいお人柄が溢れていました。また、乙村理事は、Youtube や電子書籍を通じ、ご自身の言葉で情報の発信をされています。ぜひご覧ください。

■略歴

広島県出身。2019年「一般社団法人おもやいファーム」設立。同社、代表理事。また、株式会社リューズの代表取締役として介護事業所の運営を行っている。

■次号予告

次回のトップ・インタビューは、
Air Station Hibiki 株式会社
代表 武智 充 さんです。
次回もお楽しみに！



スナQポロシャツを販売します

いよいよ今年も衣替えの時期となりました。

スナQポロシャツの季節です♪ クールビズの準備はお済みですか？

今年はスナQが筆を持って文字を書いたバージョンで2柄あるので選べます！

A柄は背中に Port of Kitakyushu の文字とスナQがいます。

B柄の背面はシンプルで右下(裾)に Port of Kitakyushu の文字とスナQがいます。

おとりまとめいただければ、会社まで配達いたします。詳しくは、添付チラシをご覧ください♪

[★スナQポロシャツ \(チラシ\)](#)

[★スナQポロシャツ申込書](#)

↑ こちらをクリック！

スナQポロシャツの
季節ですよ！



スナQ

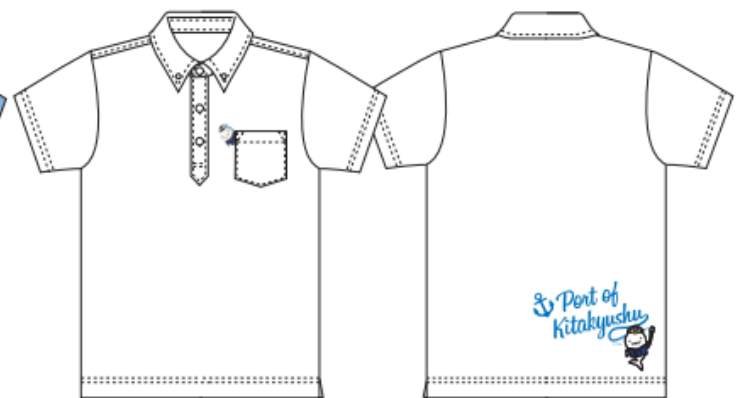
【お問合せ先】・・・北九州港振興協会 担当：酒見・久保
TEL：093-321-5900 FAX：093-321-1695
MAIL：kyoukai@kppa.jp

※色は10色あります。詳しくはチラシをご覧ください。

A柄



B柄



会員価格 2,500円 (税込)
(一般価格 2,800円)

会員企業の新入社員ら135人が実務研修と北九州港を見学 北九州港オリエンテーションを開催しました

▶ REPORT

4月27日、28日の2日間、北九州港オリエンテーションを開催しました。

会員企業である海運・港湾・貿易企業の新入社員、国・市関係者ら135人が、海上視察と講義で港湾の基礎を学びました。

この行事は、北九州港振興協会が主催し、平成5年度から実施しています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、やむなく中止となりましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、1日目の海上視察では、船から西海岸ふ頭、太刀浦コンテナターミナル、日明地区や洞海湾などの海から見える港湾関係施設等を視察しました。また2日目の講義では、港や海辺に関する国や市の役割や、ビジネスマナーの基礎などをベテラン講師が分かりやすく解説しました。

コロナ禍ではありますが、今回の講義と視察に参加された皆様方のお役に立ちますよう、また、今後のご活躍を期待いたします。



1日目 海上視察



船からの視察



2日目 講義

一般社団法人北九州港振興協会

▶ REPORT

第57回 通常総会を開催しました

5月31日（月）、副会長など必要最小人数による総会を当協会事務所で開催しました。

本年度の総会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、会員の皆様には委任状の提出、または書面による議決権の行使をお願いし、議案への賛否をご提出いただきました。

その結果、総会員数330名に対して、副会長2名、専務理事1名、書面による議決権行使（182名）及び委任状（80名）の計265名により、すべての議案が承認されたことをご報告させていただきます。今後とも会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

新会員のご紹介

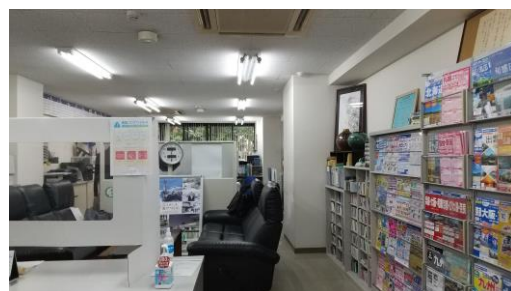
株式会社 九州観光

業種：旅行業

所在地：八幡東区西本町四丁目 4 番 17 号

北九州市の八幡東区にて 50 年以上の営業実績を持ち『安全で快適な旅行』を提供しております。

国内外の旅行全般から海外業務渡航・視察等テクニカルなものまで、ご要望に応じた内容のアレンジを行います。



 株式会社 九州観光

東京九州フェリー株式会社

業種：海運業

所在地：門司区新門司北三丁目 1 番 30 号

7 月 1 日に新門司～横須賀間に就航予定の新会社です。環境問題やドライバー不足を背景としたモーダルシフトの受け皿として、また多様化する観光ニーズに対応して、九州圏と関東圏を結ぶ物流や観光の一翼を担います。



 東京九州フェリー

ビズ・コレジオ株式会社

業種：システム開発・ホームページ制作

所在地：小倉北区大門一丁目 5 番 1 号

西日本工業大学大学院・地域連携センター

ホームページやプログラムを使い、広報やマーケティング、DX で経営課題を解決する企業です。

広報・マーケティングは仮設立案、データ分析、改善を繰り返します。お客様とともに未来をデザインします！



 Bz-Collegio

◆編集後記◆

5月15日(土)、福岡管区気象台は九州北部が梅雨入りしたとみられると発表しました。平年より20日、昨年より27日早くなったそうです。統計開始以来2番目に早い梅雨入りとのことで、また豪雨災害などにならないか心配な時期でもあります。

また、福岡県では、3度目の緊急事態宣言が発令され、6月20日まで延長されました。北九州市でもコロナワクチンの予防接種が始まり、庁舎近くの旧大連航路上屋でも接種された方を見かけることがあります。まだコロナ感染者がなかなか減らず、すぐそこに迫ってきているように感じます。

当協会では、4月に2年ぶりとなるオリエンテーションを無事開催することができましたが、5~6月に寄港が予定されていたクルーズ船は軒並みキャンセル。一日も早く元の生活に戻れることを切に願ってやみません。



そんな中、先日「母の日」に、娘からバラの苗をもらいました。とても嬉しく、早速鉢に植え替えました。バラは、日当たりと栄養が大事だということで、朝日があたる場所に植えました。外出自粛期間は、バラのお手入れをしながら梅雨を楽しみたいと思います。(N.M)

発行人：一般社団法人 北九州港振興協会

北九州市門司区西海岸1丁目2-7

TEL 093-321-5900 FAX : 093-321-1695

監修：北九州市港湾空港局

ご意見、ご要望は右記までご連絡ください E-mail : kyoukai@kppa.jp

<https://www.kppa.jp>

